



日本語ほど繊細で物事を的確に表現する言語はないと言われます。日本語の中には私たちが日常的に生活の中で使用することばの他に、文語や業界用語と言われることばもあり、一生かかっても使いこなせないほど豊かです。

私たちの生活はこの豊かな日本語を通して成り立っているのです。人として生きる日々の中で、欠くことのできない人と人との結びつきは、相手とコミュニケーションをとること、思いを互いに伝え合うことで成立しています。ことばを通して相手を慈しむ思いを伝え合うことが、人と人との大切な「業」だと思えます。

さて、私たちが日常、口をついて出てくることばは五音でできていることが多いことに気づきます。

ありがとう こんにちは
がんばって すみません
きをつけて またこんど・・・

これらは、どれも相手を気遣い自分の思いを端的に伝えることができる優しい響きを持ったことばです。日常使う短い会話として大切にしたいことばだと思います。

元日本テレビのアナウンサーで現日テレ学院長である石川牧子氏は、「そのエッセイの中で「言葉には力がある」と語ってきたのに、場にあつた適切な言葉を見つけれなかった経験から、言葉には「音のない言葉・声なき言葉がある」と述べています。それは何かという「あたたかな眼差しであつたり、あたたかな手の触れ合いであつたり・・・」だそうです。豊かなことばを持つてしても伝えられない思い・・・それは相手をまるごと受け入れることで伝えられる心のことばなのです。「以心伝心」です。



現代は忙しい時代です。それは子どもとて同じこと。学校・塾・習い事・・・小さな社会で子どもたちも悩み、自分と戦いながら成長しています。そんな子どもたちに大人はどんなことばで思いを伝えていようか？

ことばは不思議なエネルギーを作り出します。やる気・粘り・振り返り・挑戦・創造・・・多様な子ども「力」は、豊かなことばかけと、声なきことばかけにより生み出されてくると思います。

ことばを大切に使いながら、子どもとたくさん語り合ってください。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

児童虐待防止「きこえるよ 耳をすませば 心のさげび！」

これは、11月の児童虐待防止推進月間の標語です。児童への暴力などは家庭という密室で行われることが多く、外からは耳をすまさないければ子どもの悲痛な声には気づきません。

特に保育所や学校へ入る前の児童は、大人と接する機会が少ないため発見が遅れてしまいます。身近な地域だけでなく、配達などの仕事による訪問や通勤途中で、毎日同じ子どもが重い買い物袋を持っているのを見かけることから気づくこともあります。

何かお気づきの点がありましたら民生委員(児童委員)、市町村あるいは児童相談所などに連絡をください。一つの命のために「協力をお願いします。虐待の兆候

- ▼体にあざや傷が多い(身体的虐待)
- ▼子どもの身なりが不自然で不健康な様子(子育ての放棄)
- ▼必要以上におびえたり極端な反応を示したりする(心理的虐待)

※他市町村の民生委員については、左記までご相談ください。

問合せ先

☎ 0555(24)9042

Eメール fh-hokenf@pref.yamanashi.lg.jp

看護職員再就業相談

結婚、出産、育児、介護などで職場を離れた看護職員の皆様、今はどうしていらつしやいますか。あなたの再就業が期待されています。

富士・東部地区においても看護職員の需要は、医療の進歩や介護保険制度などにより年々増加しており、就職が厳しい昨今であっても依然高い求人倍率です。看護職員にしかできない仕事は病院、診療所、訪問看護、老人介護施設などたくさんあります。

ブランクがありすぎるとご心配の方には「潜在看護師等臨床実務研修会」(山梨県ナースセンター)で最新医療や看護を現場で学ぶ機会(3日間)を用意しています。また県内の求人情報も提供していますので、自分に合った職場を選ぶことができます。

これまでの経験を生かして再チャレンジしてみませんか。お気軽にご相談ください。

○保健師、助産師、看護師、准看護師の免許をお持ちの方

○個人情報厳守します。

問合せ先 健康支援課

☎ 0555(24)9034